



よし だ ひろ やす
吉田博康



けん と
県都クラブ

ネットワーク・リモート環境整備の内容は

問 現在のコロナ禍においては、対面での活動が制限されている状況であり、国や県の関係機関との会議も、オンラインで行われるものが中心となっている。
今回の補正予算により、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ネットワーク・リモート環境整備を実施するが、その内容は。
また、導入後は職員の積極的な活用が求められるがどうか。

独立したネット環境を16の公共施設に整備

答 今回の環境整備では、ウェブ会議で使用する専用のノートパソコンを23台購入するとともに、外部との会議をウェブ上で行うために必要な独立したインターネット環境を、各総合支所を含む16の公共施設に整備する。
また、インターネット環境がない状況下でもウェブ会議等が行えるよう、モバイルルーターを3台配置する。
今回のネットワーク・リモート環境整備は、ウェブ会議のみならず、例えばサテライトオフィスとして利用するなど、幅広い活用も見込まれると考えている。

●その他の質疑・質問●

○WITHコロナにおける新しい生活様式への環境整備としてのサーモグラフィーカメラの購入および図書館書籍消毒機の導入について
○修学旅行支援事業について、今後の感染拡大等によるキャンセルなどへの支援の考えは
○津駅周辺道路空間検討会について、道路法等の一部改正による利点は **など**



▲公共施設の出入りにサーモグラフィーカメラを導入



あお やま のり たけ
青山昇武



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

旧津市社会福祉センターの在り方について

問 旧津市社会福祉センターは、7年前に児童館や老人福祉センターなどの機能を津センターパレスビルへ移転し、用途廃止となった。
津城跡の保存や南側からの景観のためにも、合併特例債を活用し、早期撤去をすべきであると考えますが、どうか。

各関係機関と調整し、早期除却に取り組む

答 旧津市社会福祉センターが建つ場所は、都市公園であるお城公園の区域内にあり、三重県指定史跡津城跡保存管理計画においても、周辺環境との調和を念頭に置くべき場所とされている。
また、建物は、耐震診断調査により、耐震性が不足しており、老朽化も著しい状況であることから、平成29年1月に策定した津市公共施設等総合管理計画において、解体撤去する必要があるものとしている。
各関係機関と調整を行い、早期の除却に向けて取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○津センターパレスの現状と今後は
○感震ブレーカー普及策は



▲旧津市社会福祉センター